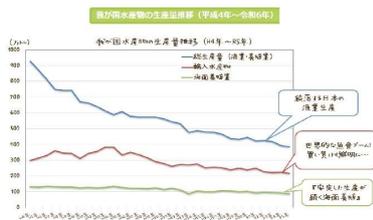


開催報告

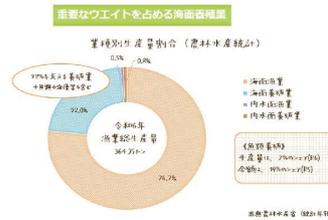
北大関西同窓会 2026年2月三金会  
(2026年2月20日開催)

2026年2月の三金会は、昭和57年水産学部ご卒業の佐藤信光先生から、「種苗生産から見た日本の魚類養殖について」、というタイトルでご講演いただきました。佐藤先生は、長瀬産業(株)で、長年、水産養殖、水産種苗関連ビジネスに携わってこられ、ご講演では、日本の水産業の問題点、漁業養殖の重要性と課題、についてお話しいただきました。

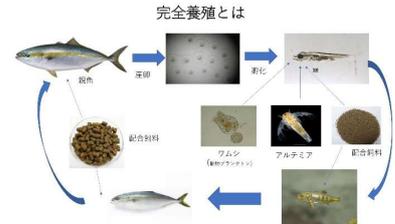
魚介類の漁獲量は年々減少している



捕る漁業から育てる漁業へ



育てる漁業



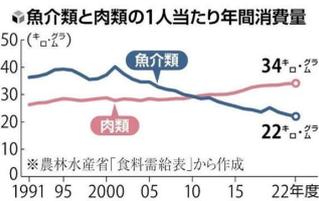
魚介類は重要な蛋白源である

魚介類の漁獲量は年々減少している  
漁業従事者が年々減少し、かつ高齢化している  
日本人の魚の消費量が年々低下している

魚は骨があるから？  
魚は高いから？

日本人の動物性蛋白をどのように確保するのか？  
早急に対策が必須

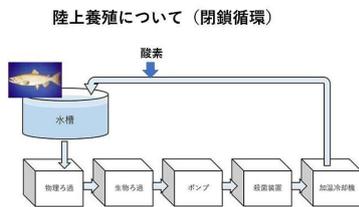
魚介類は嗜好品へ



魚介類の自給率低下



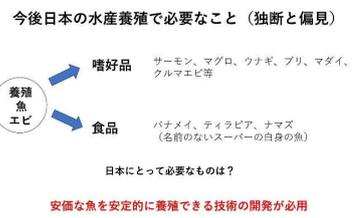
陸上養殖に活路



陸上養殖のメリットとデメリット

- 陸上養殖のメリット、デメリットについて
- メリット
- ※環境に優しい (閉鎖循環方式の場合)
  - ※トレーサビリティ管理が容易 (何を食べたのか、どのような水質で飼育していたか、薬を投与したか等の確認)
  - ※生産量と品質管理しやすい。
  - ※自然災害 (特に台風)、感染症、寄生虫のリスクが少ない
  - ※女性、老人でも働ける
  - ※場所の制約を受けづら (どこでもよいというわけではない)
- デメリット
- ※建設コスト、ランニングコストが高額 (=飼育密度が海面養殖に比べかなり高くなる)
  - ※病気等のトラブルが発生すると、大損害が生じるリスクがある。
  - ※停電、機械トラブルが生じると、大損害が生じるリスクがある。(予備電源等のバックアップが必要)
  - ※技術的にまだ完成していない部分がある。

これからの水産養殖



写真

